

教会

エクレシア

エペソ人への手紙1:20~23



教会（エクレシア）とは

聖書で「教会」と訳されていることばの元々の単語はギリシア語で「エクレシア」です。エクレシアとは、「ある目的を持って召し出された者たち」、「呼び出された会衆」という意味です。つまり、神によってこの世からある使命をもって召し出された者たちの集合体を意味します。

ペテロの信仰告白の上に教会は建つ

イエスは彼らに言われた。「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか。」シモン・ペテロが答えて言った。「あなたは、生ける神の御子キリストです。」・・・あなたはペテロです。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てます。

(マタイ16:15~18)

イエスをキリストと告白する使徒たちの教えを基礎として、キリストの教会は建てられます。パウロの表現に従えば、「ご自身の血をもって買い取られた神の教会」(使徒20:28) すなわち御子の血によって贖い出された、新しい契約の民こそ、神に召し集められた集団、エクレシアなのです。

あなたは**ペテロ** (**ペテロス=小石**)です。わたしはこの**岩** (**ペトラ=大岩、岩盤**) すなわちペテロの信仰告白の上に、イエスはご自分の教会を建てようと言っているのです。

キリストの体 互いに器官

確かに、からだはただ一つの器官ではなく、多くの器官から成っています。たとい、足が、「私は手ではないから、からだに属さない。」と言ったところで、そんなことでからだに属さなくなるわけではありません。・・・神はみこころに従って、からだの中にそれぞれの器官を備えてくださったのです。

(1コリント12:14~18)

キリストの体の肢体として、信者たちは、「かしら」なるキリストと関係を持っているばかりではなく、体の中で**お互いにも、関係を持っている**ことになります。

務めと賜物は仕えるため

それぞれが賜物を受けているのですから、神のさまざまな恵みの良い管理者として、その賜物を用いて、互いに仕え合いなさい。

(1ペテロ4:10)

すべての人は賜物を受けています。賜物に優劣はありません。鍵は兄弟愛です。

務めと賜物とは、仕えるためのものです。信者の賜物は、自分自身を建て上げるためのものではなく、他の人々、教会家族に仕えるためのものです。

1:20 神は、その全能の力をキリストのうちに働かせて、キリストを死者の中からよみがえらせ、天上においてご自分の右の座に着かせて、

1:21 すべての支配、権威、権力、主権の上に、また、今の世ばかりでなく、次に来る世においてもとなえられる、すべての名の上に高く置かれました。

1:22 また、神は、いっさいのものをキリストの足の下に従わせ、いっさいのものの上に立つかしらであるキリストを、教会にお与えになりました。

1:23 教会はキリストのからだであり、いっさいのものをいっさいのものによって満たす方の満ちておられるところです。

主の聖所としての教会

あなたがたは神の神殿であり、神の御霊があなたがたに宿っておられることを知らないのですか。(1コリン3:16)

王なる祭司としての教会

あなたがたも…霊の家に築き上げられなさい。そして聖なる祭司として、イエス・キリストを通して、神に喜ばれる霊のいけにえをささげなさい。(1ペテロ2:5)

真理の柱、土台としての教会

神の家とは生ける神の教会のことであり、その教会は、真理の柱また土台です。(1テモテ3:15)

主の作品としての教会

(エペソ2:10)

道としての教会

(使徒11:13)

巡礼者としての教会

(ヘブル9:2)

奥義としての教会

(エペソ3:3-6)

主の嗣業としての教会

(エペソ1:18-19)

キリストの花嫁としての教会

(エペソ5:21-32)

野生のオリーブの枝としての教会

(ローマ11:16-24)

主の大使としての教会

こういうわけで、私たちはキリストの使節なのです。(2コリ5:20)
私たちは、神の平和の任務に派遣して下さった王なる主の大使である。

主の軍隊としての教会

悪魔の策略に対して立ち向かうことができるために、神のすべての武具を身につけなさい。私たちの格闘は血肉に対するものではなく、主権、力、この暗やみの世界の支配者たち、また、天にいるもろもろの悪霊に対するものです。

(エペソ6:11-12)

競技者のチームとしての教会

あなたがたは霊を一つにしてしっかりと立ち、心を一つにして福音の信仰のために、ともに奮闘しており、(ピリピ1:27)

地の塩としての教会

(マタイ5:13)

世の光としての教会

(マタイ5:14-16)

主の畑としての教会

(1コリン3:6-9)

主の漁師としての教会

(マルコ1:17)

るつぼとしての教会

(1ペテロ1:6-7)

信者の交わりとしての教会

そして、彼らは使徒たちの教えを堅く守り、交わりをし、パンを裂き、祈りをしていた。(使徒の働き2:42)

主の家族としての教会

見よ。兄弟たちが一つになって共に住むことは、なんといいあわせ、なんといい楽しみさであろう。それは頭の上にそそがれたとうい油のようだ。それはひげに、アロンのひげに流れてその衣のえりにまで流れしたたる。

それはまたシオンの山々におりるヘルモンの露にも似ている。主がそこにとこしえのいのちの祝福を命じられたからである。

(詩篇133:1~3)

主の学校としての教会

(マタイ28:19-20)

しもべとしての教会

(マタイ24:45)

